

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Brighten School Daikanyama

公表日 2026年2月6日

利用児童数 39人

回収数 14人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		1			法令を遵守したスペースとなっております。限られたスペースの中ではありますが、安全面や子ども一人ひとりの特性を考慮しながら、環境設定や活動内容を工夫して実践しております。今後も、より活動の幅を広げられるよう、レイアウトの見直しや活動方法の工夫を継続してまいります。また、必要に応じて環境面の改善についても検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					法令で必要とされる配置数は確保しており、更に手厚くお子様達の療育ができるように法令より多い人数で療育にあたっております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13		1			生活空間は、日常的な清掃や衛生管理を徹底し、子ども達が清潔で心地よく過ごせる環境づくりを心がけています。また、活動内容や人数に応じて空間の使い方を工夫し、落ち着いて過ごす時間と身体を動かす活動の両方に対応できるように配慮しています。今後も、子ども達の様子や活動に合わせて、環境の見直しと改善を継続してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14					生活空間は、日常的な清掃や衛生管理を徹底し、子ども達が清潔で心地よく過ごせる環境づくりを心がけています。また、活動内容や人数に応じて空間の使い方を工夫し、落ち着いて過ごす時間と身体を動かす活動の両方に対応できるように配慮しています。今後も、子ども達の様子や活動に合わせて、環境の見直しと改善を継続してまいります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					当事業所では、子どもの特性やその時の状態に応じて、個別の部屋や落ち着いた場所を使用できる環境を整えています。活動への参加が難しい場合や気持ちを整える必要がある際には、安心して過ごせる空間を提供し、無理のない関わりを行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					事業所が公表している支援プログラムは、実際に提供している支援内容と概ね一致していると考えています。支援計画や日々の実践に基づき、子ども一人ひとりの状況に応じた支援を行っており、今後も定期的な確認と見直しを行いながら、適切な運用に努めてまいります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					子ども一人ひとりの発達状況や特性を十分に把握するとともに、保護者の意向やニーズを丁寧に確認した上で、アセスメントに基づいた児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しています。今後も、定期的な評価と見直しを行いながら、より適切な支援につなげてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					児童発達支援計画については、児童発達支援ガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」の観点から、子どもの状況や課題に応じて必要な支援項目を適切に設定しています。その上で、目標に基づいた具体的な支援内容を明確にし、日々の支援に反映できる計画となるよう作成しています。今後も、計画内容の妥当性を定期的に確認し、改善に努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					児童発達支援計画に基づき、日々の支援内容や関わりを統一しながら支援を行っています。支援の実施状況については記録や振り返りを通して確認し、必要に応じて計画の見直しを行うなど、計画に沿った適切な支援の提供に努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					活動プログラムが固定化されないよう、子どもの興味・発達段階・季節性を踏まえながら内容を見直し、複数の活動を組み合わせる工夫を行っています。また、日々の振り返りや職員間の共有を通して改善を行い、柔軟で多様な活動となるよう工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	1	2	3		保育所や認定こども園、幼稚園等との連携や交流については、子どもの状況や安全面に配慮しながら、必要に応じて情報共有や連携を行っています。また、地域の公園や行事等を活用し、他の子どもと関わる機会を設けるなど、地域とのつながりを大切に活動を行っています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					事業所の利用開始にあたっては、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、書面を用いながら丁寧に説明を行っています。また、保護者からの質問や不明点についても随時対応し、十分な理解を得られるよう努めています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					児童発達支援計画を保護者に示しながら、目標や支援内容について丁寧に説明を行っています。また、子どもの状況や家庭での様子を踏まえ、必要に応じて質問や意見を伺いながら、十分な理解と共有が図れるよう努めています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2				児童発達支援計画を保護者に示しながら、目標や支援内容について丁寧に説明を行っています。また、子どもの状況や家庭での様子を踏まえ、必要に応じて質問や意見を伺いながら、十分な理解と共有が図れるよう努めています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	1				日頃から、逐次時にフィードバックをしたり、面談を通して子どもの様子や成長、健康状態について保護者と情報共有を行っています。保護者との継続的な対話を大切にし、子どもの健康や発達の状況について共通理解が図れるよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				定期的に個別面談の機会を設け、子どもの成長や課題を共有するとともに、子育てに関する助言や相談支援を行っています。また、必要に応じて随時相談に対応し、保護者が安心して子育てに向き合えるよう支援しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					職員は、子どもや保護者の気持ちに寄り添い、共感的な姿勢を大切にしながら支援を行っています。日々の関わりや相談対応を通して信頼関係の構築に努め、安心して利用いただける支援となるよう心がけています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12	2				保護者同士が情報交換や交流を行えるよう、保護者会や行事等の機会を設けるなど、家族への支援に取り組んでいます。また、必要に応じてきょうだいの参加も可能な行事やイベントを企画し、きょうだい同士の交流の機会を設けるなど、きょうだいの支援についても配慮しています。今後も、家庭全体を支える視点を大切にしながら支援の充実を図ってまいります。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					子どもや家族からの相談や申入れに対応できる体制を整備し、利用開始時や日頃のやり取りを通して、その相談窓口や方法について周知・説明を行っています。相談や申入れがあった際には、内容を適切に共有し、迅速かつ丁寧な対応を心がけています。	

	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				子どもや保護者との円滑な意思疎通や情報伝達を図るため、子どもの理解特性に応じた声かけや視覚支援を活用するとともに、連絡帳や面談等を通じた丁寧な情報共有を行っています。今後も、分かりやすく伝え工夫を継続し、安心して利用いただける環境づくりに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1			通信やホームページ、SNS等を活用し、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報を定期的に発信しています。また、業務に関する自己評価の結果についても、子どもや保護者に分かりやすく周知するよう努めています。今後も、情報発信の方法や内容の充実を図ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				個人情報の取扱いについては、関係法令や事業所の規程に基づき、適切な管理と運用を行っています。職員への周知・研修を通して情報管理の重要性を共有し、子どもや保護者の個人情報適切に保護されるよう十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14				事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等に関する各種マニュアルを策定し、職員間で共有するとともに、保護者に対しても必要に応じて周知・説明を行っています。また、緊急時を想定した訓練を定期的に行い、職員の対応力向上と安全確保に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14				非常災害の発生に備え、避難訓練や安全確保の手順を想定した訓練を定期的に行い、職員間で共有しています。訓練内容については職員間で振り返りを行い、子ども達の安全を最優先にした対応ができるよう継続的な見直しと改善に努めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				子どもの安全を確保するための計画や取組について、保護者に対して周知・説明を行った上で支援を実施しています。日々の支援においても安全管理を最優先とし、職員間での情報共有や確認を徹底しながら、安心して利用できる環境づくりに努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				事故や怪我等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡を行い、発生の状況や対応内容について丁寧に説明しています。また、再発防止に向けた対応についても共有し、安心していただけるよう努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				子どもが安心感をもって通所できるよう、安定した環境作りや分かりやすい環境設定を心がけています。日々の様子や表情、行動からも、安心して過ごしている姿が見られており、今後も信頼関係の構築を大切に支援を継続してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				子どもが活動や環境づくりに期待を持ち、通所を楽しみにできるような支援や環境づくりに努めています。日々の様子からも、前向きに通所する姿が見られており、今後も子どもの興味や意欲を大切に支援を継続してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を行い、保護者との連携を大切にしながら支援を提供しています。保護者からの意見や要望を踏まえつつ、概ね満足いただける支援となるよう努めています。今後もさらなる質の向上を目指して取り組んでまいります。